

チューブパンクチェッカーテスト報告書



様

テスト日時

2016年 02月 10日

担当者

各製品へコメントを記載させて頂きましたが、検査は問題なくできました。
しかしながら①のキャップ構造から加圧量を 15 k g/N以下で検査した方が良いかと思えます。
デモ用加圧ローラーφ150×85 mmの為、ご発注の際は上記以外のワークサイズを
確認させて頂きローラーサイズを決定させて頂きます。

テスト①



ワークサイズ φ23 mm ×123 mm
加 圧 閾 値 15 k g N ~ 22 k g / N
搬 送 速 度 7. 5 m / m i n
製 品 ピ ッ チ 125 mm ~ 150 mm
検 査 タ ク ト 50 個 程 度 / m i n

加圧閾値を 10 ~ 15 k g / N にて検査しないとキャップ構造から蓋が空いてしまう可能性がある。検査自体は問題なく行えた。

テスト 2



ワークサイズ φ23 mm ×123 mm
加 圧 閾 値 15 k g N ~ 22 k g / N
搬 送 速 度 7. 5 m / m i n
製 品 ピ ッ チ 125 mm ~ 150 mm
検 査 タ ク ト 50 個 程 度 / m i n

全長が短くデモ機で検査はできたが、幅の狭いローラーを製作すれば問題なし。

テスト 3



ワークサイズ φ18.5 mm ×113 mm
加 圧 閾 値 15 k g N ~ 22 k g / N
搬 送 速 度 7. 5 m / m i n
製 品 ピ ッ チ 125 mm ~ 150 mm
検 査 タ ク ト 50 個 程 度 / m i n

全長が短くデモ機で検査はできたが、幅の狭いローラーを製作すれば問題なし。*本数が 2 本の為、連続投入できず

テスト 4



ワークサイズ φ19 mm ×123 mm
加 圧 閾 値 15 k g N ~ 22 k g / N
搬 送 速 度 7. 5 m / m i n
製 品 ピ ッ チ 125 mm ~ 150 mm
検 査 タ ク ト 50 個 程 度 / m i n

全長が短くデモ機で検査はできたが、幅の狭いローラーを製作すれば問題なし。